

# 軽自動車 6 時間耐久レース コースオフィシャル ミーティング

2025/10/05 コース委員長 樋口雅樹

## <変更点>

- ・オフィシャル必要物（持参・支給）
  - ・黄旗の掲示・強振例
  - ・ピットインオフィシャルのハンドメガホンのサイレン
  - ・ピットアウトオフィシャルのとベルトチェック
- その他、各所修正

## 1-(1). オフィシャル必要物（持参分）

黒以外の服・長袖長ズボン	ハチ・虫対策推奨／旗の色の服は避ける
悪路に耐える靴	長靴推奨
追加飲料	
マスク	ホコリ対策
レインコート	
椅子	
ビニールシート等	荷物置き
ビニール袋(大)等	荷物のホコリ・雨対策
手袋（革・軍手）	トラブル車の救出時
タオル等	


\* OB戦の学生オフィシャルにはオフィシャル賞が配付予定です


## 1-(2). オフィシャル必要物（支給分）

ポストテント	組み立ては現地で
消火器	
パトライト・誘導灯(棒)	
弁当・飲料	
各種の旗とSCボード	日章旗・チェッカーは本部のみ
無線機と予備電池	
熊鈴	SLSより
コース業務分担表	
公プロ	
ペン	
記録用紙	
ハンドメガホン	P in/outにてサイレンを使用する
P in/out 記録	P in/out
臨時入場者パス	P in

## 2. ポストの仕事と位置の比較

	仕事	設置場所	立ち位置	旗の掲示
ダートラ	主としてトラブル・リタイヤ車両の救済(後処理)	トラブルの発生しやすい場所	コースから離れた安全な位置	本部・ギャラリー向け
ジムカーナ	主としてPTの判定とパイロン修正(後処理)	PTの発生しやすい場所	PTの判定がしやすい位置	本部・ギャラリー向け
レース	<b>ドライバーに各種の指示を主として旗表示で行う(先行指示)</b>	<b>ドライバーが見やすい右手前方の要所</b>	安全な土手の上など	<b>ドライバー向け</b>

 ○ ダートラポスト

 ○ ジムカーナポスト



**○ K6ポスト**

### 3. ポストオフィシャルの判断・判定

コース内にカメラやモニター等の施設は無い

本部や他ポストからは見通せず、無線での連絡・報告が全て

無線は1:1の会話しか行えず、通話中は他ポストからの報告が行えない

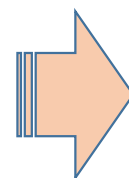
各ポストオフィシャル要員の全てが、競技長の傘下にいるのではなく、競技長に成り代わって判断・判定を、瞬時に行なわなければならない

他の競技のオフィシャルと異なり、競技規則書を熟知し、ルールを把握しておかなければならない

競技長・コース委員長と無線で連携しながらレースコントロールを行うのが仕事。  
ルールを知らなければ連携できない

## 4. 業務分担表の見方

- (1) 各オフィシャルの主な業務内容
- (2) 各オフィシャルグループ内での業務分担
- (3) 「競技」規則書の主な関連ルール抜粋



業務分担表

2021\_K5\_コース業務分担表

		業務分担				
		a	b	c	d	e
1	ピットイン(4名)	○				コースから目を離さない
	一時停止確認		○			
	ピットイン時間の確認			○		
	以上の記録			○		
	記録用紙の本部提出			○		ゴール後速やかに
	無観客観				○	
	マカニシ時経過	○	○	○	○	

<旗掲示のガイドライン>

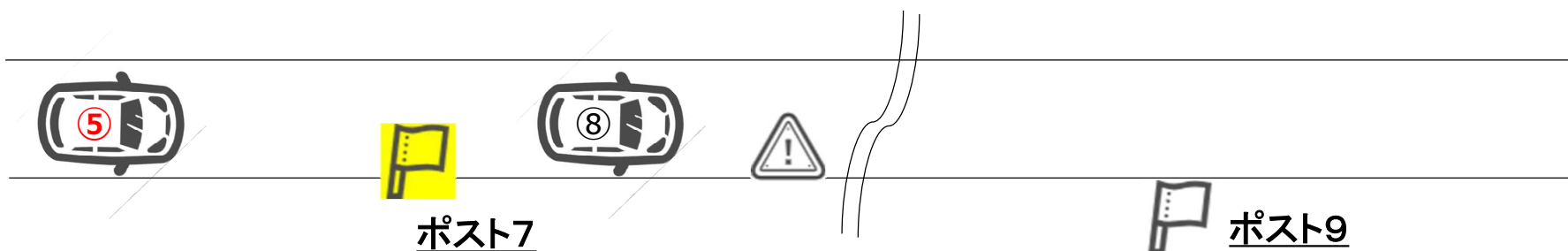
1. 黄旗

掲示無し：十分なコース幅が残っていて、全開走行に支障が無い

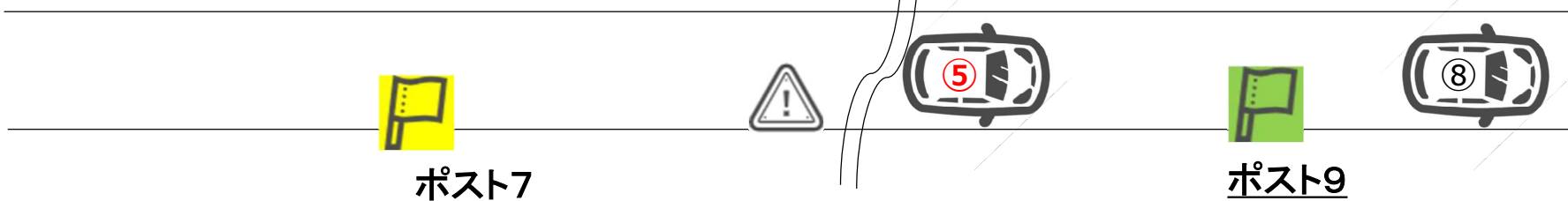
手旗減速：十分なコース幅は残っているがやや全開走行には気がかり

黄旗減速：コース幅に余裕が無い、十分な減速が必要

## 5. 黄旗掲示と緑旗掲示の関係性



ポスト7の先で大きなトラブル発生！本部へ無線連絡後に黄旗掲示の指示を受ける。  
ゼッケン⑧には黄旗が間に合わず、**ゼッケン⑤から黄旗を提示。その状況を無線連絡。**  
ポスト9はゼッケン⑤から緑旗を掲示できるよう準備して待機。



ポスト9でゼッケン⑧には旗の掲示を行わず、**ゼッケン⑤から緑旗を提示。その状況を無線連絡。**  
ポスト7は本部からの指示が有るまで黄旗掲示を維持。

## 6-(1). 黄旗の追い越し禁止区間

\* 黄・緑・赤旗は、道路の信号機の色ではありません！

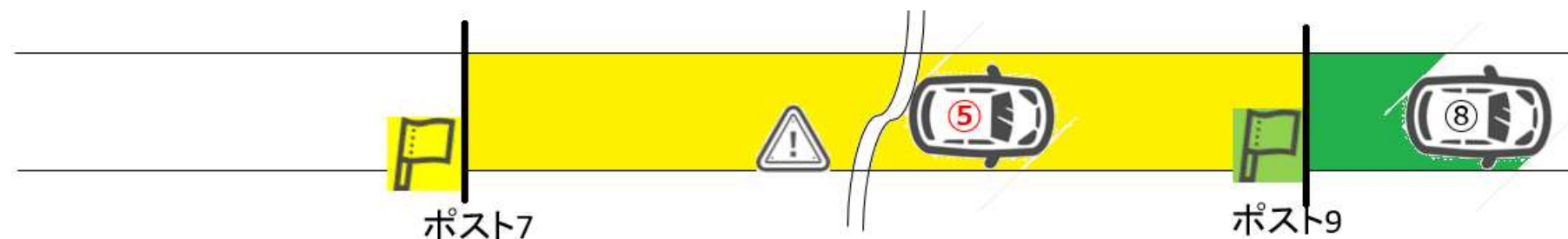


ポスト7の先で大きなトラブル発生！

ゼッケン⑧には黄旗が間に合わず、ゼッケン⑤から提示。

ゼッケン⑧は前方にトラブルの現場が有っても緑旗状態。即ち追い越し可

ポスト7まではゼッケン⑤も追い越し可、ポスト7からは黄旗。



ゼッケン⑤はポスト9まで追い越し禁止、

緑旗を掲示しているポスト9を超えてから追い越し可となる。

## 6-(2). 黄旗の追い越し禁止区間

- ローリングスタート時：
  - > 全ポストでゆっくり**黄旗を振る + S Cボード掲示**
- 特定ポストで赤旗発生：
  - > 他のポストは黄旗を強振（× 全ポスト赤旗は無い）
- 特定ポストでトラブル発生：
  - > 指定されたポストで黄旗を掲示または強振
  - > レスキューのコースイン時は全ポストで**S Cボード**
- 散水車コースイン：
  - > 全ポスト**黄旗静止（F C Y） + S Cボード掲示**

## 7. 無線交信例 (1)

<フォーメーションラップ>

こちらはペースカーです  
フォーメーションラップを開始したので  
全てのポストは黄旗をゆっくりと振っ  
てください。最後尾のゼッケン△△  
番の☆☆大学が通過時に、  
無線連絡してください。



コース委員長から、全ポストオフィ  
シャル、レスキューへ、ペースカーラ  
ンで走行を開始する前に連絡し  
ます

全てのポストは最後尾ゼッケンの  
通過を報告します。  
途中車両に異常走行を確認出  
来たら速やかに無線連絡をお願  
いします。


ポスト6です  
ただ今、最終ゼッケン△△番が通過し  
ました。  
**隊列は正常です**




## 7. 無線交信例（2）

<フォーメーションラップ>

競技長から該当ポストへの指示  
です。レスキューの出動判断は該  
当ポストに託したケースです。

こちらは本部です   
**最後尾の車両が通過後に**隊列に  
戻してください  
自力で戻れない場合はレスキュー  
出動を要請してください


ポスト7です   
ゼッケン〇〇番の□□大学がスタック  
して、隊列を維持できません  
**コースは塞いでいません**


コースは塞いでいないが隊列が整  
わず、判断を本部に委ねる為の  
報告です。

## 7. 無線交信例 (3)

<フォーメーションラップ>

フォーメーションラップは中止です。  
スタック車両を撤去するためのレスキュー車両の走路確保が必要です。

こちらは本部です。  
レスキューは競技車両に注意しながら  
出動してください。  
全てのポストは、レスキュー車が通過  
できるように、  
競技車両をコースの右側に寄せるよう  
に誘導してください

ポスト7です   
ゼッケン〇〇番の□□大学がスタックし  
て、隊列を維持できません  
コースを塞いで後続車は止まっています  
自力でのコース復帰は不可能です

コースを塞いでいて動けず、フォー  
メーションラップが中断してしまいま  
した。本部に委ねる為の報告です。

## 7. 無線交信例（4）

<転倒>

レースは中止です。転倒車両を撤去するためのレスキュー車両の走路確保がまず必要です。

こちらは本部です



全てのポストは黄旗を強く振ってください  
レスキューは競技車両に注意しながら出動してください。  
全てのポストは競技が停止している事を確認出来たら、  
レスキュー車が通過できるように、  
競技車両をコースの右側に寄せるように誘導してください  
ピットイン・ピットアウトは閉鎖します

ポスト7です




シケイン手前で壁に乗り上げ転倒、赤旗提示します  
転倒車はゼッケン〇〇番の□□大学です


横転後、戻ってしまっても、転倒扱いです。転倒時の赤旗判断だけは各ポスト自身で行ってください。  
走路の安全の確保ができたなら転倒車両に近づき、エンジンの停止有無に関わらず、外からキルSWを操作してください。その次にドライバーの安全確認です。  
同時に他のポスト員は後続車を全力で減速・停止させてください

## 7. 無線交信例 (5)


<コースアウト>

こちらは本部です   
旗は出さずに、そのまま様子を見てください

こちらは本部です   
旗は出さずに、そのまま様子を見てください  
手前のポスト6は旗ではなく、  
手を上下に振って、  
競技者に注意を促してください

ポスト7です   
シケイン手前で壁に乗り上げ停車しています  
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です  
コースはレース走行に問題ありません


安易に黄旗を出さない事が大切です


ポスト7です   
シケイン手前で壁に乗り上げ停車しています  
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です  
コースは塞いでいないですが、  
走行に注意が必要です。

## 7. 無線交信例（6）

<コースアウト>

ポストの位置、ゼッケン、大学名  
など、重要な情報を全てのポスト  
は聞き取ってください

こちらは本部です   
手前のポスト6は**ゼッケンを確認できた車  
両から黄旗を強く振って、**  
そのゼッケンをすぐに無線連絡してください。  
無線連絡を受けたゼッケンから、  
ポスト7も黄旗強振とポスト8と9は黄  
旗を静止、本部前のコントロールラインで  
緑旗を出します

ポスト7です   
シケイン手前で壁に乗り上げ停車しています  
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です  
コースは塞いでいないですが、とても危険です。


1. 自身でのコース復帰ができそうにない場合
2. ドライバーの安全がとても危惧される場合
3. 明らかに二次的事故が危惧される場合


その他具体的な報告が大切です

## 7. 無線交信例（7）

<故障>

コースを塞いでレースを続行できない場合は赤旗でレースを停止し、本部前などで再スタートの段取りとなります。従って故障車が容易に復帰できない場合にのみ、赤旗でレースを中止します

こちらは本部です   
全てのポストは黄旗を強く振ってください  
ゼッケン確認は不要です  
ポスト7は赤旗を出してください  
レスキューは出動をお願いします。

ポスト7です   
シケイン手前で壁に乗り上げ、コース中央で停車しています  
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です  
コースを塞いでいて、自走もできません。


1. 自身でのコース復帰ができそうにない場合
2. ドライバーの安全がとても危惧される場合
3. 明らかに二次的事故が危惧される場合


その他具体的な報告が大切です


## 7. 無線交信例（8）

<接触・ブロック>

追い越しは右側からでも左側からでも可能です。  
一方遅い車は原則として右側走行です。  
悪質な走行を行う車両は、その行為を繰り返します  
ので、何らかの指示を本部から行う可能性  
あります

こちらは本部です   
全てのポストは、  
ゼッケン〇〇番の走行に注視して、  
危険とみなされた場合は報告してください


ポスト7です   
接触しながらの追い越し発生。  
右側から追い越した車両はゼッケン〇〇番  
の□□大学です


ポスト7です   
故意に追い越しを妨げる行為が発生。  
ブロックした車両はゼッケン〇〇番の□□大  
学です

## 7. 無線交信例 (9)

<ペナルティ>

ペナルティの判定は競技会役員が行い、審査委員会が裁定する事になっています。  
ポスト員はポストを離れられないので、**競技会役員が聞き取りに行き、審査委員会にかけます**

こちらは本部です   
**審議の為に競技役員がポスト7に向かいますので待機してください**


ポスト7です   
**黄旗中に追い越しが発生。**  
追い越した車両はゼッケン〇〇番の□□  
大学です


黄旗区間での追い越しだったか、  
今一度ポスト員全員で  
よく確認し合ってください

## 7. 無線交信例 (10)

<ペナルティ>

競技時間の半分を経過後はマッドフラップ脱落の修理は免除されます

こちらは本部です。  
ピットインの指示をチームから出させます

ポスト7です   
マッドフラップが脱落していますがコースに問題はありません。  
脱落した車両はゼッケン〇〇番の□□大学です

車輛のトラブルは、早期にポストオフィシャルが発見し報告すべきです。それによって安定したレース運営が可能になります

## 8. ピットイン（競技規則書抜粋等）

ピット入場の際には  
右ウインカーで合図すること。  
（最終ヘアピンコーナー通過後  
速やかに合図すること。）

S Cラン時のピットインは認める

S Cラン中に散水作業の状況によっては、  
隊列全車をピットインさせる場合がある

パトライト点灯のままS Cがピットインした場合は全車それに従うこと。

ピットインは必ず一時停止し、  
競技会役員の指示に従うこと。

ピットロードの走行はローギアのみで最  
徐行すること。  
速度は時速8 km以下（人の早歩  
き程度）に速度規制される。

またピットクルー2名が帯同する。  
帯同者がいない場合は後続車をふさ  
がないように仮の待機場所へ移動

今年から、  
明らかに違反した速度、  
及びクルーの帯同無しと  
判断した時にハンドメガ  
ホンのサイレンを鳴らす  
事とします

## 9. ピットアウト (競技規則書抜粋等)

ピットアウト(コースイン)は  
SCラン終了後のコントロールライン上にて  
緑旗が提示された後に  
隊列の最後尾に付く事で  
コースインを認める。

ピットアウトは必ず一時停止し、  
競技会役員による安全装備チェック  
(ヘルメット、HANS デバイスまたはネックプ  
ロテクター)の装着、服装、**シートベルトの  
装着状態等**  
を受けなければコースインは出来ない。

ピットアウトは本コース優先とし、  
コースに入る時は  
左ウインカーで合図をし、  
注意しながらコースに入ること。

コースイン後の最初のコーナー  
はアウトサイドを走行すること。

先頭車両がチェッカーフラッグを受けたと同時に  
ピット出口は閉鎖され、  
ピットに停車中の車両は  
再びコースに戻ることは出来ない。

今年から、  
ピットアウトしてしまったが何らかの理由で停めたいとき、  
速やかにポスト1の協力を得るために  
ハンドメガホンのサイレンを鳴らす事とします

## 10. ピットイン・アウト共通（競技規則書抜粋等）

ピットロード



ピットレーン

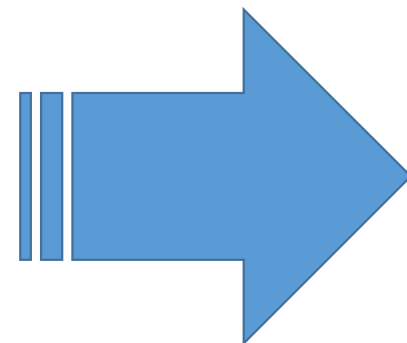
16条10項  
規制されるピットロードとは、  
ピットイン時の一時停止ラインから、  
ピットアウト時の一時停止ラインまでとする。

21条2項  
ピットレーンの入口・出口は  
競技中断（赤旗）と共に閉鎖され、  
競技再開（緑旗）と同時に開けられる。

ピット及びピットレーンは逆走・バックギア禁止。

**発見したらハンドメガホンのサイレンを鳴らす  
事とします**

ピットロード



EOF